

こんなことに注意！

■アトピー性皮膚炎

ふわふわの毛で覆われていてわかりにくいのですが、実はわんちゃんは皮膚が薄く、乾燥に弱いんです。特に、アトピー性皮膚炎の子は遺伝的に皮膚が乾燥していると言われています。乾燥によって、症状が悪化したり、かゆみやフケの原因に。保湿用のシャンプーや、保湿剤を使って予防してあげましょう。

■呼吸器疾患

冬の気温と湿度は、皮膚のバリア機能を低下させるだけでなく、鼻や喉のバリア機能も低下させます。特に、免疫機能が弱い子犬や子猫、シニアの子たちは、感染の可能性が高まり、気管支炎や鼻気管炎になりやすく…。咳やくしゃみ、鼻水などの風邪のような症状が見られたら、動物病院へ連れて行ってあげましょう。

■循環器疾患

なかなか見つけるのが難しい心臓の病気です。実は、症状の一つに咳が出ることがあります。空気が乾燥して咳が出やすい冬は、早期発見のチャンスです。特に、シニアの子が頻繁に咳をする様子や急な体重の減少などが見られたら要注意。レントゲンやエコーでの検査をお勧めします。

寒い冬は暖房器具での低温火傷にも注意です。

室内が暖かくなると、ノミやダニも活発化するので注意が必要です。

冬の乾燥や寒さはわんちゃんやねこちゃんに大敵!!

健康第一でわんちゃん、ねこちゃんと楽しい冬をお過ごしください。

